

⑨ 資金計画

全体の投資予定内容と必要資金、その調達見込みなどを記載してください

(1) 必要な資金

(2) 資金調達の方法

(単位、千円)

区分	投資内容	金額	うち 補助対象	区分	調達先	金額
設備資金	1			自己資金	自分自身・自社	
	2				親	
	3				その他()	
	4				自己資金合計	0
	5			借入金	【金融機関以外】	
	6				親	
	7				その他()	
	8				【金融機関借入】	
	9				日本政策金融公庫	
	10				〇〇銀行	
	11					
	12					
設備資金合計		0	0	借入金合計		0
運転資金	1 仕入資金			その他	その他の補助金	
	2 在庫資金				小規模事業者持続化補助金	
	3 販売管理費(経費)					
	4 広告宣伝費				クラウドファンディング	
	5				少人数私募債	
	6				その他(増資他)	
	7					
運転資金合計		0	0	その他合計		0
投資合計		0	0	調達合計		0

※投資合計＝調達合計、となるように記載してください。本補助金は自己資金に含めます。

(3) 資金調達見込み

(単位、千円)

区分	調達先	調達済	調達見込	申込前、相談中、決定済など状況を記載
借入	金融機関	日本政策金融公庫		
		〇〇銀行		
	その他			
その他				

月間・販管費検討表 (単位・円)

※ 法人の場合、費目名が異なりますが近似する費目で記入してください
 ※ 課税事業者は税抜きで入力してください (単位・円)

〈経費内訳〉	内容	時給	時間	日数	月額	
人件費	従業員給与				0	
	パート・アルバイト		0	0.0	0	
	パート・アルバイト		0	0.0	0	
	パート・アルバイト		0	0.0	0	
	※労働保険=労災保険+雇用保険	業種で率決定(製造業要注意) → 1名でも雇用すると要届出				
	①労災保険料	卸・小売・飲食・宿泊、「その他」 → 3/1000				0
	②雇用保険料	一般(建設、農林水産等以外) → 9.5/1000 (R				0
	※31日以上雇用する見込みがあり、週20時間以上勤務する従業員が対象					
	③社会保険料	報酬額により保険料決定				0
	④福利厚生費 他					0
<hr/>						
地代家賃					0	
水道光熱費	電気				0	
	水道				0	
	ガス				0	
					0	
<hr/>						
消耗品費	おしぼり、紙ナプキンほか				0	
	事務用品、衛生用品 (トイレットペーパー他)				0	
	厨房用品				0	
<hr/>						
通信費	インターネット等回線使用料				0	
	電話・携帯電話使用料				0	
<hr/>						
図書新聞費	新聞代(ネット含む)				0	
	雑誌等購入費	顧客用、自分用 ※業務上必要なもの			0	
<hr/>						
広告宣伝費	チラシ作成費用	年間発注見込額	0		0	
	ネット広告費用				0	
	雑誌広告 (JAKEN、タウン情報おかやま)	年間発注見込額	0		0	
	その他	年間発注見込額	0		0	
<hr/>						
接待交際費	1人1回に5千円まで				0	
荷造運賃	ネット販売や宅配に伴う発送賃				0	
研修費	研修費、資格に伴う会費等	年間			0	
旅費交通費	電車・バス・タクシー、飛行機、宿泊代他 高速道路料金				0	
<hr/>						
支払手数料	税理士(会計ソフト)費用・・・月額				0	
	決算申告費用	個人、3~5か月	0 (年間)		0	
	その他				0	
<hr/>						
車両費	自動車の任意保険	年間支払額	0		0	
	ガソリン代	年間支払額	0		0	
	※旅費交通費に計上する場合もあり	(単価) (間隔・か月)				
	オイル交換代		0	0	0	
車検費用	2年に1回の費用	0		0		
<hr/>						
損害保険料	火災保険	年間支払額	0		0	
	賠償責任保険	"	0		0	
<hr/>						
支払利息	借入額 / 金利		0	0.0%	初回金利	
				返済回数	0	
				賦払額(毎月の返済額)	0	
					最終返済額	
<hr/>						
租税公課	自動車税、軽自動車税	年額	0		0	
	事業所税、事業税	"	0		0	
	その他	"	0		0	
					0	
<hr/>						
修繕費	修繕費				0	
雑費	その他団体の会費	年額	0		0	
	BGM放送費用				0	
	その他雑費				0	
<hr/>						
					0	

経費見込

	(単位・円)		検討事項	増加金額・要因			
	月間経費	年間経費		1年目	2年目	3年目	要因
人件費	0	0	人員増加	0	0	0	
地代家賃	0	0	家賃値上げ	0	0	0	
水道光熱費	0	0	売上増加による変動	0	0	0	
消耗品費	0	0	売上増加による変動	0	0	0	
通信費	0	0		0	0	0	
図書新聞費	0	0		0	0	0	
広告宣伝費	0	0		0	0	0	
接待交際費	0	0		0	0	0	
荷造運賃	0	0		0	0	0	
研修費	0	0		0	0	0	
旅費交通費	0	0		0	0	0	
支払手数料	0	0		0	0	0	
車両費	0	0		0	0	0	
損害保険料	0	0		0	0	0	
支払利息	0	0		0	0	0	
租税公課	0	0		0	0	0	
修繕費	0	0		0	0	0	
減価償却費	0	0		0	0	0	
雑費	0	0		0	0	0	
経費合計	0	0		0	0	0	

減価償却費推計

※ 個人事業主は所得税法なので減価償却(基本・定額法)が「強制」される

物件	初年月数	取得額	耐用年数	償却率	(単位・円)			
					1年目	2年目	3年目	残価
	0	0	0	0.0000	償却額	0	0	0
						残価	0	0
	0	0	0	0.0000	償却額	0	0	0
						残価	0	0
	0	0	0	0.0000	償却額	0	0	0
						残価	0	0
	0	0	0	0.0000	償却額	0	0	0
						残価	0	0
	0	0	0	0.0000	償却額	0	0	0
						残価	0	0
合計		0					0	0

【参考】津山市水道料金

基本料金 (2ヶ月につき)		従量料金 (1m ³ につき)			
口径(mm)	料金	種別	用途	使用水量(m ³)	料金
13	1,760円	専用給水装置	一般用	1から20まで	82.5円
20	3,080円			21から40まで	187.0円
25	4,730円			41から60まで	220.0円
40	6,380円			61から200まで	247.5円
50	7,920円			201以上	269.5円
75	9,460円		湯屋用	1	88.0円
100	12,650円	共用給水装置	一般用	1	88.0円
150	16,830円		臨時用	1	539.0円

	単価	使用量
基本料金	0	
20m ³ まで	82.5	0
40m ³ まで	187.0	0
62m ³ まで	220.0	0
200m ³ まで	247.5	0
201m ³ 以上	269.5	0

月額・水道料金推計	
基本料	0
使用料金	0
合計	0

【参考】
 一般家庭で使用されている浴槽は、約200ℓ。
 シャワー1分約10ℓ、10分＝約100ℓ。
 ※ 1m³＝1,000ℓ

⑩ 売上見込と損益計画

(1) 提供する商品・サービスと価格

最初に、自社が提供する商品・サービスの価格(割引制度があれば割引価格)とその内容を記入し、平均客単価を算出するための検討資料とします。(割引価格の設定があれば記入)

商品・サービス	価格(円)	割引価格	摘要
区分①			
区分②			
区分③			
区分④			
区分⑤			

(2) 来店客想定

客席のある店舗の場合、営業時間と店舗でのお客様の平均滞留時間を想定し、1日の平均顧客回転率と最大来店客数を想定します。

①営業時間 10:00 ~ 21:00 11:00 時間
 ②休憩時間 14:00 ~ 17:00 3:00 時間 ⇒ 正味営業時間 8:00 時間
 ③顧客の平均滞留時間 1:00 時間 ⇒ 顧客回転率 8.0 回転
 ④客席数(最大対応客数) 1 席(人) 1日の最大来店客数 8 人 (1席=1人と前提)

⑤ 週間来店予想

次に、実際の来店客数想定を1週間分予想します。1年後、順調に来店客が来た場合の予想です。

週の営業日数 1.0 日 ※店休日・店休時間は入力しない

開店	閉店	月	火	水	木	金	土	日	平均来店客数
10:00	14:00	午前							0.0
17:00	21:00	午後							0.0
		合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

最後に、開業月から1年間、1日の平均来店客数と平均客単価を想定します。(上記の来店客想定を前提に、マーケティングの効果、開業後はすぐに来店客が来るかどうか、客数の増減を考えて1年間の予想をします。)

⑥ 1日にの来店客数、平均単価想定 開業月 10月

(単位、人・千円)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
区分①	平均来店客数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	想定原価率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0%	営業日数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
区分②	平均来店客数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	想定原価率	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
	0.0%	営業日数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
区分③	平均来店客数													0.0
	想定原価率		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0%	営業日数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
区分④	平均来店客数													0.0
	想定原価率		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0%	営業日数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
区分⑤	平均来店客数													0.0
	想定原価率		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0%	営業日数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
合計													0.0	

(3) 回収、支払条件

現在キャッシュレス支払が広く普及しています。売掛先の回収条件、買掛先の支払条件も検討が必要です。回収条件、支払条件は計画書の「(5)事業内容について」で想定した先の平均を記入してください

売上 ⇒ 現金	比率	0.0%			※手形回収も売掛で集計してください
売掛金	比率	#####	平均回収期間	0.0ヶ月	※キャッシュレスは事業者で支払期間が異なります
(キャッシュレス)			キャッシュレス手数料率	0.00%	
仕入 ⇒ 現金	比率	0.0%			
買掛金	比率	#####	平均猶予期間	0.0ヶ月	

(4) 1年間の損益見通し

売上高は、来店客数想定×平均客単価×営業日数で自動的に部門別に集計されます。原価は、売上高×想定原価率で自動的に部門別に集計され、売上総利益(粗利益)が売上高一原価で部門別に集計されます。

※創業当初は、当初の購入品(投資)のうち10万円以下の「経費」に含まれるものが多く発生するので想定します。

初期投資のうちの経費想定額 0千円

※生活費には「国民保険料」や各種「税金」を含みます

(単位、千円)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
売上高	区分①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原価	区分①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
粗利益	区分①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売管理費(経費)	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地代家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	接待交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	販売手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
粗利益(差引金額)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
営業外損益(法人)														0	
経常利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
キャッシュフロー A (経常利益+減価償却)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
借入金返済額 B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生活費想定 C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差額(A-B-C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 法人の場合、「支払利息」を除いて「営業外損益」を想定すれば「経常利益」段階では合計額は一致します

(5) 年間損益計画

① 来店客想定

(単位、人・千円)

		1年目	2年目	3年目	目標値
区分①	平均来店客数				
	想定原価率				
	0.0%				
区分②	平均来店客数				
	想定原価率				
	0.0%				
区分③	平均来店客数				
	想定原価率				
	0.0%				
区分④	平均来店客数				
	想定原価率				
	0.0%				
区分⑤	平均来店客数				
	想定原価率				
	0.0%				

② 損益計画

初年度は、1年間の損益見通しからその年の売上を入力してください

開業する月 10月 (単位、千円)

		1年目	2年目	3年目	目標値
売上高	区分①	0	0	0	0
	区分②	0	0	0	0
	区分③		0	0	0
	区分④		0	0	0
	区分⑤		0	0	0
	合計	0	0	0	0
原価	区分①	0	0	0	0
	区分②	0	0	0	0
	区分③	0	0	0	0
	区分④	0	0	0	0
	区分⑤	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0
粗利益	区分①	0	0	0	0
	区分②	0	0	0	0
	区分③	0	0	0	0
	区分④	0	0	0	0
	区分⑤	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0
販売管理費 (経費)	人件費	0	0	0	0
	地代家賃	0	0	0	0
	水道光熱費	0	0	0	0
	消耗品費	0	0	0	0
	接待交際費	0	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	0
	販売手数料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	
粗利益(差引金額)		0	0	0	0
営業外損益(法人)					
経常利益		0	0	0	0

販管費想定から自動入力のため修正がある場合、数字を入力してください

←減価償却の目標は2年目の額

⑫ 補助対象経費明細の内容(必要に応じ適宜枠を増やしてください。)

「税抜」とは消費税及び地方消費税を除外した金額を指します。

ア 事業費

(ア) 広告費

- 販路開拓のための広告宣伝、パンフレット等作成、展示会の出展などに係る経費を記入してください。
なお、印刷物等は補助対象期間内に使用した部分のみが対象となります。
- 個別の具体的な名称(展示会名、サービス名、会社名)等は記入不要です。

(単位:円)

内容	目的	数 (A)	単価 (税抜) (B)	所要金額		備考
				(税込)	(税抜) (A) × (B)	
					0	
					0	
					0	
計				0	0	

(イ) 設備費

- 店舗の付属設備(壁、床、天井)に固定されるもので、設置に伴い工事を必要とするもの(備品は対象外です)

(単位:円)

品名	用途	個数 (A)	単価 (税抜) (B)	所要金額		備考
				(税込)	(税抜) (A) × (B)	
					0	
					0	
					0	
計				0	0	

(ウ) 改装費

- 補助事業の遂行に必要な改装について、補助対象期間に事業完了可能な経費をご記入ください。
- 原則、補助事業の遂行事業者は岡山県の建設業許可取得事業者のみに限ります。ただし、特段の理由により許可を有しない事業者の施行を希望される場合には、該当事業者の過去の事業実績が分かる資料を添付してください。

(単位：円)

施行業者	使用目的	個数 (A)	単価 (税抜) (B)	所要金額		備考
				(税込)	(税抜) (A) × (B)	
				0	0	
					0	
					0	
計				0	0	